

# “ともに立ち上がろう！”

## JBU 救援ニュース <第 16 号>

基幹労連  
東日本大震災  
中央災害対策本部  
2011年9月5日(月)  
[www.kikan-roren.or.jp](http://www.kikan-roren.or.jp)

～被災された多くの皆さまに心よりお見舞い申し上げます～

### ◆三県本部(岩手・宮城・宮城)を訪問し、現状をヒヤリング

8月10日～11日、工藤事務局長、山根中執が三県本部を訪問し、基幹労連の第5期後半活動方針での「震災対応の取り組み」について説明し、各県本部から、安全やワークルール確保に向けた取り組み、ボランティアニーズ、支援物資のニーズ、避難所など現在の状況についてヒヤリングしました。

#### <福島県本部より>

- ・多くの協力会社関係者が構内に入り、安全面について不安がある。労使で安全点検の強化を促している。
- ・交通網が分断され不便な状況が続いている。また信号機が復旧していない。
- ・家や車の二重ローン問題に直面している。借入幅や返済額の緩和等、優遇措置を求める。
- ・放射能風評被害が多数発生している。
- ・放射能の除去作業をスピーディに行って欲しい。

#### <宮城県本部より>

- ・復旧作業で過重労働が続いている。
- ・ボランティアニーズは一定の目途がつき、センターを閉鎖している。
- ・家や車の二重ローン問題に直面している。借入幅や返済額の緩和等、優遇措置を求める。
- ・放射能問題で不安を抱えている。正確な情報を流してほしい。
- ・多くの地域で地盤沈下し、また防波堤が崩壊したままであり、未だ恐怖を抱えている。
- ・下水処理場が壊滅し、汚染が心配である。
- ・信号機が復旧していない。道路側溝の蓋がなく危険な状態である。

#### <岩手県本部より>

- ・復旧作業に他県から応援を受けているが、非定常作業が多く安全面には充分注意している。
- ・釜石地区のボランティアニーズは無くなってきており、他も一定の目途が立っている。
- ・ボランティア活動に対し、組合員から感謝の意が寄せられている。

### ◆ボランティア活動について

基幹労連からのボランティア参加者(9月3日まで)

**478名**

#### ① 連合ボランティア派遣 ～9月25日で派遣を終了します～

多くの方にご協力いただいた連合ボランティア派遣が9月末で終了することとなりました。残り2週間となりますが、事故のないようくれぐれも安全第一でお願いします。

なお、現地は未だに日差しが強く、日焼け、熱中症対策、虫よけ対策が必要です。また、側溝の蓋の取扱い等でヒヤリハットが発生しているとのこと、くれぐれもご注意願います。

<第19陣：8/15～20>



<第20陣：8/21～27>



② JBUパワーバンク派遣 ～9月以降の活動について～

現在、現地のボランティアニーズ、受入体制等について把握を行い、基幹労連の定期中間大会以降(9/8～9)のJBUパワーバンク活動の検討を行っています。

◆液状化被害に対する認定基準の見直し～共済会申請に関して～

全労済は、地盤の液状化等により多くの建物に損害が発生している状況を鑑み、「地盤に係る住家被害認定の運用見直し」を行い、損害認定方法を追加しました。

基幹労連共済会としては、これに準拠した取扱いを行うこととし、詳細は別途基発にてご連絡します。

以上

<基幹労連本部連絡先> 電話 03-3555-0401

土日・祝日・夜間(携帯電話)090-9412-5759